

ときわ公園のペリカン・ハクチョウ飼養状況と国内外の高病原性鳥インフルエンザの状況

2020年12月2日

(期間:2020年11月1日~11月30日)

1 ペリカン・ハクチョウの飼養状況

(1) 飼養羽数(2020年11月30日現在)

モモイロペリカン	6羽
ハイイロペリカン	7羽
コブハクチョウ	4羽
コクチョウ	1羽

(2) 飼養状況

- ・2020年10月30日より、鳥インフルエンザ対策のため、ハクチョウ類5羽はハクチョウ舎内で飼養
- ・ペリカン島ネット内に野鳥の侵入がみられたため、ネットを補修し、ネット破損の原因と考えられる野生ヌートリアの捕獲を実施

2 ときわ公園の野鳥の数(宇部市常盤動物園協会職員による調査)

	11月30日	前月	前年同月
計測鳥類全体	26種661羽	29種557羽	24種475羽
うち、検査優先種鳥類	13種373羽	11種148羽	11種309羽

※ときわ公園内、石炭記念館前から菖蒲池間で時間を限定して行った観察により計測された鳥類の数であり、ときわ公園全体にいる鳥類の数を示す数値ではない。

※検査優先種鳥類については、環境省による最新情報をもとに、各月のデータから計数しなおして記載している。

3 国内での鳥インフルエンザウイルス検出状況

(1) 鳥類等

都道府県	宿主	血清亜型	件数
新潟県	野鳥糞便	高病原性(H5N8亜型)	1
	環境試料(水)	高病原性(H5N8亜型)	1
兵庫県	家さん	高病原性(H5N8亜型)	1
香川県	家さん	高病原性(H5N8亜型)	8
福岡県	家さん	高病原性(H5N8亜型)	1
宮崎県	家さん	高病原性(H5N8亜型)	1
鹿児島県	野鳥糞便	高病原性(H5N8亜型)	1
	環境試料(水)	高病原性(H5N8亜型)	3

(2) 人

- ・検出例なし。



ペリカン島の状況(11月30日撮影)



ハクチョウ舎の状況(11月30日撮影)

4 世界での鳥インフルエンザウイルス検出状況

(1) 鳥類等

国	宿主	血清亜型	件数
韓国	家きん	高病原性(H5N8亜型)	1
	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	3
	野鳥糞便	高病原性(H5N8亜型)	4
		低病原性(H5亜型)	4
		低病原性(H7亜型)	1
		低病原性(H5N3亜型)	3
		低病原性(H5N9亜型)	2
		低病原性(H7N9亜型)	1
		低病原性(複合型※)	1
	病原性検出されず(H5亜型)	5	
不明	高病原性(H5N8亜型)	1	
台湾	家きん	高病原性(H5N5亜型)	4
イラン	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	不明
イスラエル	家きん	高病原性(H5N8亜型)	2
オランダ	家きん	高病原性(H5N8亜型)	3
	野鳥	高病原性(H5N5亜型)	1
		高病原性(H5N8亜型)	15
ベルギー	家きん	高病原性(H5N5亜型)	1
	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	7
不明※※	野鳥	高病原性(H5N1亜型)	1
ドイツ	家きん	高病原性(H5N8亜型)	11
	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	207
		高病原性(H5N5亜型)	7
イギリス	家きん	高病原性(H5N8亜型)	1
	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	7
スウェーデン	家きん	高病原性(H5N8亜型)	1

	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	2
クロアチア	家きん	高病原性(H5N8亜型)	1
スロベニア	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	1
スペイン	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	1
デンマーク	家きん	高病原性(H5N8亜型)	1
	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	2
ポーランド	家きん	高病原性(H5N8亜型)	1
イタリア	野鳥	高病原性(H5亜型)	3
	家きん	低病原性(H5亜型)	1
フランス	家きん	高病原性(H5N8亜型)	8
ノルウェー	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	1
ロシア	家きん	高病原性(H5N8亜型)	3

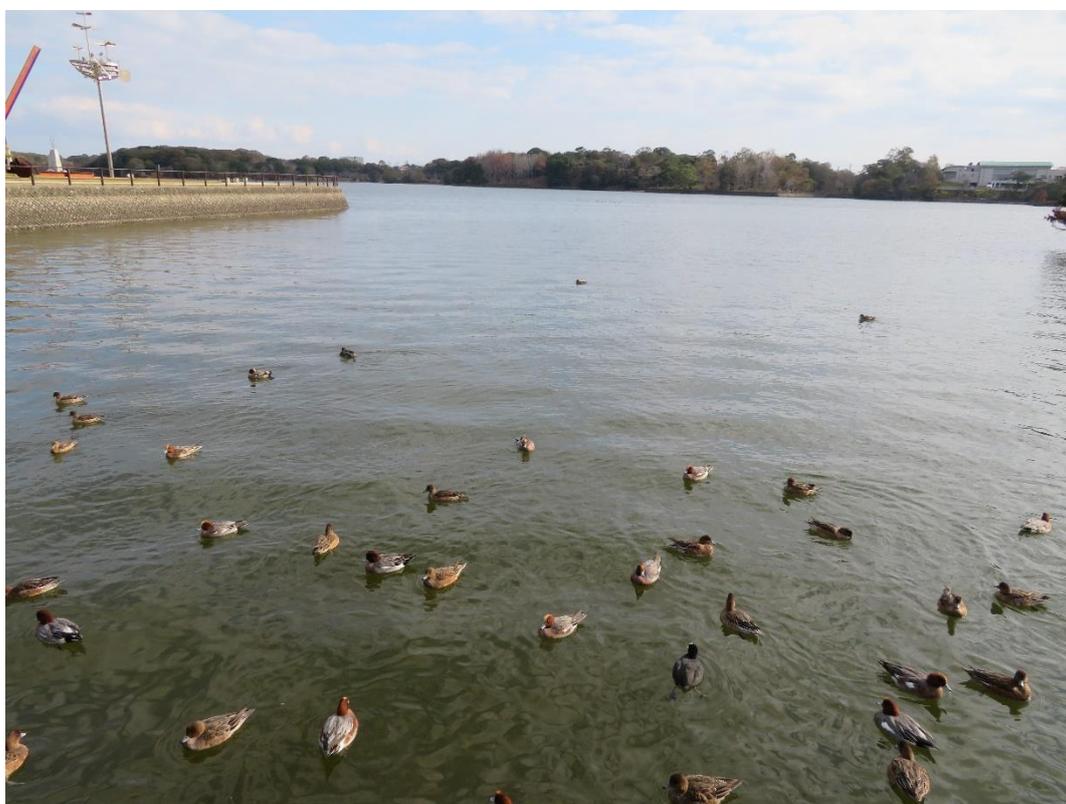
※複合型:H7N1,N2,N3,N8

※※オランダあるいはベルギーの2通りの記載があり詳細は不明

(2) 人

・検出例なし。

※3、4は、2020年12月2日までに環境省、農林水産省、厚生労働省、OIE、WHOに発表された情報をもとに集計。



ときわ公園の野鳥(11月30日撮影)